

News Release



神戸市教育委員会の「神戸モデル標準服リユースシステム導入社会実験」 運営パートナーにカンコー学生服が選定 制服フリマサービス「UNINOWA(ゆにのわ)」を神戸市立中学校62校で運用開始

菅公学生服株式会社（本社：岡山市北区駅元町 代表取締役社長：尾崎 茂 以下：カンコー学生服）は、神戸市教育委員会が実施する「神戸モデル標準服リユースシステム導入社会実験」の運営パートナー事業者として選定されました。これに伴い、2026年1月下旬より、カンコー学生服が運営する制服専用フリマサービス「UNINOWA(ゆにのわ)」を、神戸市立中学校62校を対象に運用開始することをお知らせいたします。



■背景と目的

「UNINOWA」は、卒業やサイズアウトで不要になった制服を次の持ち主につなぐ、制服専用のフリマサービスです。環境負荷の低減や保護者の経済的負担の軽減を目的に、2025年3月より、「同じ学校の保護者同士」で安心・安全に売買できるプラットフォームとして展開してまいりました。

神戸市教育委員会では、物価高騰への対応や多様性への配慮を目的に、2023年度より市内中学校で共通デザインの「神戸モデル標準服(制服)」を導入されています。さらに、この標準服の特性を活かした「全市的なリユースシステム」の構築によって、生徒・保護者の経済的負担軽減や利便性の向上、環境保護を目指すという社会実験を計画されました。当社は、「UNINOWA」を活用していただくことで、この目的の実現に寄与したいと考え、運営パートナーとして本社会実験に参加させていただく運びとなりました。

これまで「UNINOWA」は、「同じ学校の保護者同士」での取引を前提としており、自治体共通型制服における「学校の枠を超えた全市的な取り組み」は今回が初の試みとなります。本件を通じて、神戸市における持続可能な制服運用のモデルケースを確立し、近年増加傾向にある「自治体共通型制服」を採用する全国の他自治体への展開も視野に入れ、さらなる展開を目指してまいります。

■神戸モデル標準服リユースシステム導入社会実験の概要

・実施期間：2026年1月下旬～2027年5月末（予定）

・対象：神戸市立中学校62校（2026年1月時点）

※神戸モデル標準服全員着用校：36校／希望者着用校：26校の在校生

※希望者着用校26校は任意参加、今後増加の可能性もあり

・対象アイテム：神戸モデル標準服（ブレザー／スラックス／プリーツスカート／キュロットスカート／長袖シャツ／半袖シャツ・半袖ポロシャツ／長袖ニット・ベスト／ネクタイ・リボン等）

・運用方法：制服専用フリマサイト「UNINOWA」を通じて、保護者間で直接売買を実施

・利用者への周知・広報：学校へポスター掲示、学校-家庭-地域をつなぐ連絡システム「すぐーる」を通じて周知

■神戸モデル標準服とは

物価高騰への対応や多様性への配慮を目的に、2023年度より導入された市内中学校で共通デザインの標準服（制服）

・導入校数（2026年度時点）：全員着用校36校、希望者着用校（従来の独自標準服との併用）46校

・ブレザー上下以外のシャツ・ニット・ネクタイ・リボンは、学校によって着用のルールが異なる

・複数の制服メーカー・アパレル会社が提案し、投票を経て決定した神戸ならではのデザイン（神戸タータン、港町らしい色の組み合わせ等）が特徴

・共通の色やデザイン（基本仕様）をもとに、製造認定メーカー13社が製造（2026年1月現在）。



■UNINOWAについて

【概要】

「UNINOWA」は、対象校の保護者同士が制服を売買できるプラットフォームです。スマートフォンから簡単に出品・購入が可能で、従来のバザーや譲渡会に比べて、保管や開催準備の手間を省くことができます。システム導入費や月額固定費は一切ありません。まだ使える制服を無駄にせず有効活用できるため、家計の助けになるとともに、環境にもやさしい循環型の取り組みです。対象校毎の登録制やプライバシーが守れる匿名対応など、安心・安全に配慮した設計で、制服を“次の持ち主”へつなぐ、新しいリユースの形です。

KANKO UNINOWA公式サイト：<https://www.reuse.kanko-gakuseifuku.co.jp/>

【サービスの提供について】

・対象：全国の幼稚園・小学校・中学校・高等学校など

・導入費・月額使用料：無料

・販売手数料：販売価格の20%（取引が完了した際に発生）

※販売手数料無料キャンペーン実施中（20%⇒0%）

期間：2025年6月17日（火）～2026年4月30日（木）

対象：上記期間で取引完了した商品

・お問い合わせフォーム：

※導入に関するご相談・ご要望を隨時受付中です。



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeYj8gxm5gvHhrHAsOTg9EWd-LsqWrEAHi9Fjbkz96eLWlpdw/viewform?fbzx=6164647280965200748>

・KANKO UNINOWA事務局：info-reuse@kanko-gakuseifuku.co.jp

【特徴】

- ・制服メーカーのカンコー学生服が各学校の許諾を得て展開するフリマサイト
※大手フリマアプリでは、中古の制服・体操服の売買を禁止しています。
- ・同じ学校間のみの限定アクセス
各学校ページを開設し、売買は同じ学校に通う保護者同士で行います。
外部の人や転売業者による閲覧・購入はできない仕組みです。
- ・プライバシーが守れる匿名取引
取引から配送まで、保護者間はプライバシーが守れる匿名対応で行います。
※ヤマト運輸の匿名配送サービス

【利用イメージ】



【導入メリット】

- ・保護者の経済的負担の軽減
- ・学校関係者や保護者によるバザーや譲渡会開催の手間削減
- ・SDGs貢献活動の一環に

【導入校の先生方の声】

- ・これからの時代には必要な取り組み
- ・SDGsの流れもあり、リユースを検討していた
- ・子どもたちは成長期なので需要は高い
- ・保護者からバザーを望む声はあったが、コロナ以降は実施できていなかったのでかわりになる

■「UNINOWA」とロゴの由来

UNINOWA=ユニフォームの輪。使わなくなった制服や体操服などのユニフォームを新しい持ち主につなぐ循環の輪をイメージしています。



■菅公学生服株式会社

1854年(安政元年)創業。学校制服・体操服を通じて、子どもたちと学生生活を支えるすべての人々に寄り添い、さまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニーです。